

目次

建設機械化回顧 ..... 山内 一郎... 1  
 昭和 40 年度官公庁の事業概要 (その 1)  
 I. 昭和 40 年度建設省事業の概要 ..... 高橋 和夫... 2  
 II. 昭和 40 年度農林省農地局関係予算の概要 ..... 井元 光一... 9  
 梓川開発計画の概要 ..... 宮地 一郎... 14  
 御母衣第 2 ロックフィルダム ..... 楠本 明之... 20  
 トルクレットの施工実績について ..... 前田 沢田 肥二... 29

グラビヤー東海原子力発電所建設工事

東海発電所の冷却水取水工事 ..... 真鍋 恭平... 35  
 渡辺 嘉男  
 「建設機械の現状」(その 13)  
 X. 空気圧縮機  
 X-1. ポータブルコンプレッサ ..... 佐山 道雄... 40  
 X-2. 定置式圧縮機 ..... 岡村 武雄... 43  
 XI. 建設用ポンプの現状 ..... 郡 湜... 47  
 「建設機械化講座」第 25 回 現場フォアマンのための土木と施工法  
 VIII. 岩石工法 (その 6)  
 4. 八郎潟における岩石の掘削運搬工事 ..... 内田 哲夫... 53  
 「新機種紹介」  
 I. アリマック・切上りクライマーについて ..... 田口 武夫... 60  
 II. 水陸両用車ドラゴンについて ..... 前田 慶二... 62  
 「文献調査」土質の安定処理—生石灰処理による細粒土  
 のトラフィカビリティ改善— ..... 施工部会... 64  
 文献調査委員会  
 「建設機械化研究所抄報」  
 建設機械化研究所試験研究報告 (No. 2) ..... 建設機械化... 66  
 研究所  
 「支部便り」除雪機械講演会、展示・実演会開催 ..... 東北支部... 71  
 ニュース ..... 編集部... 73  
 行事一覧・編集後記 ..... (神部・塚原)... 74

◇表紙写真説明◇

P & H 315 ショベル

株式会社 神戸製鋼所

技術革新の目覚ましい土木、建築業界の要求に応ずべく、アメリカ P & H 社が数年前から研究、開発し完成した 315 型 0.6 m<sup>3</sup> のショベルがさらに日本業界の要求と多年にわたる経験を取り入れ、P & H 社の最高の協力を得て完成した。それは強度、能力、操縦性、保守の各面にわたり 2 年有余の検討と数次にわたる試作、厳しい実地テストの繰返しを経て、その優秀性が立証された画期的ショベルである。さらに 315 型をベースとした 320、320 H (ロンググロウラ型)、330 (ワイドロンググロウラ型)、430 TC (35 t ドラッククレーン) の 4 機種も同時に完成した。P & H 315 ショベルの主な特長は次のとおりである。

- (1) 高、低 2 段変速機構
- (2) 旋回と走行を同時にすることができる独立旋回走行機構
- (3) 走行運動を停止すると自動的に作動する自動走行ブレーキ
- (4) 最新構造のオイルパスによる P & H 独特のパワーボックス構造
- (5) 独立遊星歯車機構によるブーム降下。正確で安全なクーンの動力降下
- (6) P & H 独特の旋回ローラサークル
- (7) 直接作動低油圧による油圧操作機構
- (8) 耐久性の秀れた 1 本式ディップハンドル
- (9) ロープ式突出し、引戻し機構

主なる仕様

ディップ容量.....	0.6 m <sup>3</sup>	引戻し速度.....	56 m/min
原 動 機.....	100 PS/1,600 rpm	巻上速度 (ロープ速度)	51 m/min
旋回速度.....	5.1 rpm	ブーム巻上速度 (ロープ速度)	72 m/min
走行速度 (標準).....	1.9 km/hr	作業時重量.....	22,900 kg
(低速).....	1.2 km/hr	接 地 圧.....	0.61 kg/cm <sup>2</sup>
突出し速度.....	32 m/min		